

1日に六大感染症^(※)で亡くなる
子どもの数は世界中で約**4,000人**

(※) 六大感染症とは？

ポリオ、はしか、結核、
ジフテリア、百日咳、破傷風

普段、何気なく捨てている**ボトルキャップ**で
病気に苦しむ**世界中の子ども**たちが救えます！



全国から集まったキャップが
ワクチンに...



ワクチンの全額（一人分）とキャップの数量（概算）

ポリオ（小児麻痺）	20円	約800個
BCG（結核）	7円	280個
はしか	95円	3,800個
MMR（三種混合）	114円	4,560個
DPT（ジフテリア・百日咳・破傷風）	9円	360個



ワクチンが世界中の子どもたちへ！

みなさまへのお願い！
キャップの貯金箱推進ネットワークに
ボトルキャップをお送りください！



キャップ回収のご相談も
お気軽にどうぞ！

障がい者の自立支援施設に
異物除去作業をお願いしております

現在、ほとんどの障がい者施設では障がい者の方々が行う仕事の量が激減しているようです。障がい者の方々が生活していく中で、社会に参加しているという意識をもつことが大切といわれています。

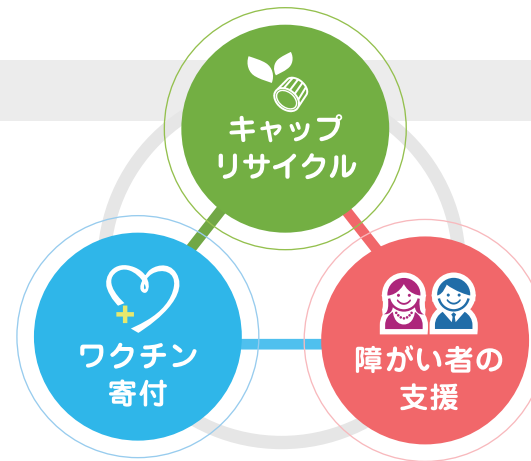
募集

分別作業にご協力いただける
障がい者の方々も募集しています！

みんな楽しく
分別作業を
しています！



わたしたちは**3**つの活動を行う
内閣府認証のNPO法人です



キャップの貯金箱推進ネットワークは「キャップのリサイクル運動」、「ワクチンの寄付」、「障がい者施設に仕事を提供」の3つの活動を主に行っている内閣府から認証を受けた特定非営利活動法人です。たとえば、キャップのリサイクルについてはプラスチックの再利用化だけでなく、焼却処分時に発生する二酸化炭素の削減、そして地球の温暖化防止にも貢献しています。

何気なく捨てているキャップで
子どもたちが救えます

キャップ
800
個



ポリオ
ワクチン
1
人分

step01 ボトルキャップの回収

step02 ワクチンの購入

step03 世界中の病気に苦しむ子どもたちへ

全国各地の企業や小学校・中学校などの各種教育機関などからボトルキャップをお送りいただき、それらをリサイクルメーカーに売却することで得られる利益を「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」に寄付しております。この団体を通じて、世界中の病気に苦しむ子どもたちの元へワクチンや医療物資が届けられています。



分別作業を通じて障がい者の
自立を支援しています



回収されたペットボトルのキャップは事務局から提携する障がい者施設に送られます。そこでは、障がい者の皆さんに異物除去作業のお仕事をさせていただき、「自分たちが社会に貢献しているんだ」という認識や、工賃をお支払することで、分別業務を通じた自立支援にも役立っています。現在、障がい者施設に依頼する仕事量の減少が問題となっておりますが、その抑止となる役割も担っています。



内閣府認証のNPO法人

キャップの貯金箱推進ネットワーク

【事務局】 〒336-0034 埼玉県さいたま市南区内谷 4-19-13

TEL 048-845-1717

FAX 048-862-1101

WEB <http://www.capnochokinbako.jp>

「キャップの貯金箱」でいますぐ検索

キャップの貯金箱

検索